

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

留学生と地域との結びつきは？
シンポジウム「留学生のキャリアプランと地域再生の可能性」開催
大学の役割を検討・模索

- 横浜国立大学では学生のおよそ9%（約900人）が留学生であり、これまでも彼らと地域社会との結びつきを促進してきましたが、これをさらに実効性のあるものにするための方策を検討・模索するシンポジウムを平成23年11月16日（水）に開催することになりました。
- 少子高齢化社会、グローバル化の中で留学生が日本社会になじみ、また企業等で人材として活躍することが重要な課題となっており、こうした点にもスポットをあてて解決への糸口とします。
- また、「留学生30万人計画」に呼応し、日本で学ぶ留学生が増加しており、大学が様々な課題に対して果たすべき役割についても検討します。

■シンポジウムの概要

開催日時：平成23年11月16日（水）16:00 ▶ 18:00

会場：横浜国立大学常盤台キャンパス中央図書館メディアホール

内容：1) 講演会：横浜国立大学における留学生人材の育成

2) パネルディスカッション

[パネリスト]

小ヶ谷千穂（横浜国立大学都市イノベーション学府）／門倉正美（横浜国立大学留学生センター）／早川芳子（NPO法人留学生職業能力開発センター理事長）／山本祐輔（神奈川県商工労働局国際ビジネスグループ）／横浜国大留学生OB・OG

詳しくは<http://www.urban.ynu.ac.jp/topics/5.html>でご確認ください

なお、本シンポジウムは国立大学フェスタ in urbanYNU ～横浜からの発信～の一環として実施するものです。

開催の趣旨

昨年、ここ横浜でAPECが開催され環太平洋の将来のあるべき姿が議論された。一方で、日本は構造的な人口減少という問題や、経済のグローバル化の影響が影を落とし経済的な低迷が続いている。経済が活況を呈しているアジア地域とは対照的である。

他方、「留学生30万人計画」など日本の高等教育における国際化、学部および大学院における留学生教育への期待は内外から高まっているものの、彼らの卒業後のキャリアプランについては、本格的な取り組みは始まっていない。実際、言語的・学問的に優れた素養を持つ留学生が日本での就職活動において苦戦する現状も見られている。

日本が持続的かつ、複数性・多様性を持った経済成長を続けるためには、地域再生と優秀な留学生とを積極的に結び付けていくことが肝要であろう。日本の社会と地域に貢献できる人材を育てることは急務である。

アジア諸国においては、若者を中心に日本文化に対する関心が高く、日本への留学や日本企業への就職を考える人材が豊富にいる。そのような人材を育て、企業で雇用し、コミュニティの一員として地域再生を進めるために今、大学という「場」に何ができるかを、留学生指導の現場、雇用を進める企業の立場、NPO、自治体、留学生などそれぞれの立場から議論し、横浜国大発の留学生と地域をつなぐキャリアプランのモデルについて検討したい。

本件についてのお問い合わせは・・・・・・・・

横浜国立大学理工系大学院等事務部大学院都市イノベーション学府係

240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号 | Tel: 045-339-3826 |

Mail: urban@ynu.ac.jp